

普及活動情勢報告（令和5年9月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

農薬適正使用の推進 ～農産物直販所安全安心ネットワーク研修会～



農薬の適正使用について
説明する当課職員

8月22日、須崎・津野山・中土佐地区農産物直販所安全安心ネットワーク研修会をJA土佐くろしお営農資材センターで開催し、直販所の運営者など3人、当課とJAのサポート会員6人が参加しました。

当課は、事務局として開催を調整するとともに、当日は農薬適正使用と生産履歴、食用と間違えやすい植物などについて説明しました。

参加者から、「果樹・柑橘の生産履歴帳簿はないか」、「高知県で自生している植物なのか」などの質問が出ました。

今後も、関係機関と連携して、農薬適正使用等にかかる情報の周知を行っていきます。

新たな園芸年度に向けて栽培技術を高めよう ～きゅうり部会勉強会～



キュウリについて説明する
普及指導員

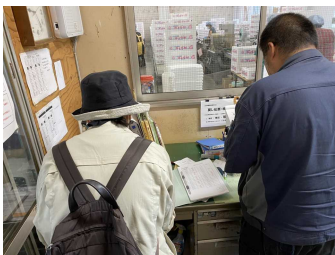
8月22日、JA土佐くろしお本所できゅうり部会が勉強会を開催し、生産者21人が出席しました。

当課からは、データ駆動型農業の考え方やSAWACHIの紹介、キュウリ黄化えそ病対策としてのIPM防除、キュウリの生理生態と温度管理の考え方について説明しました。

参加者から、「ミナミキイロアザミウマの発生は天候に左右されるのか」、「引き抜き後の黄化えそ病感染株の処分について教えて欲しい」といった質問がありました。

当課は、促成キュウリの収量・品質向上に向けて、栽培開始後も定期的な巡回指導等を行い、データを活用した栽培管理や病虫害対策を支援していきます。

JA 土佐くろしお集出荷場の出荷工程を点検！ ～GAP 合同巡回の取り組み～



営農指導員とともに点検する
普及指導員

8月25日に、JA土佐くろしお3集出荷場を、営農指導員1人と当課職員2人が巡回し、衛生管理や労働環境などを点検しました。

点検により、出荷用段ボール箱や梱包資材の適正な保管、作業場の照明のLEDへの計画的な切替え、ショウガ洗浄水の改善などが図られていることが確認できました。

当課は、JA担当者とともにGAP点検を継続して行い、出荷工程の課題や改善案を共有し、適正な衛生管理や労働環境の維持・改善ができるように支援していきます。

みんなで考える「栽培管理」 ～土佐甘とう部会現地検討会～



意見交換を行う参加者ら

8月30日、津野町の生産者ほ場で、JA高知県津野山園芸部土佐甘とう部会が現地検討会を開催し、生産者12人、JA3人、当課1人が参加しました。

当課は、令和5年度作前半の振り返りや整枝誘引方法、夏期に問題となる尻腐れ症の対策について説明しました。

参加者は、実際に植物体を見ながら、整枝誘引方法や尻腐れ症を確認し、今後の管理について活発な意見交換を行いました。

当課は、今後もJAと連携し、土佐甘とうの収量・品質向上を支援していきます。

茶産地の活性化に向けて ～つの茶振興協議会設立総会～



つの茶の振興を話し合う生産者ら

9月4日、JA高知県高西営農経済センター津野山経済課で生産者外15人が参加し、つの茶振興協議会設立総会が開催されました。同協議会は町内の生産者と販売事業者、行政等18人で構成し、令和5年3月に作成された「津野町茶業振興計画」の着実な実行と進捗管理を行うことを目的としています。

当課は、事前に事務局である町やJA等の関係機関と目標達成に向けた年次計画案を作成しており、総会では、その内容について活発な意見交換が交わされました。

当課は、今後も、主に生産部門の目標達成に関係機関と連携して取り組み、茶産地の活性化を目指します。

生産者の経営目標達成に向けて ～経営面談を実施～



現時点の目標達成状況を説明する普及指導員

9月8日に管内のミョウガ生産者2戸を対象に、当課職員2人が経営面談を実施しました。

生産者が前年度に立てた経営目標について、出荷・販売実績のデータをもとに現時点での達成度を確認し、生産者が抱える課題について助言指導しました。

生産者からは「害虫の発生がみられたが、うまく防除できた」、「次年度は初期生育をよくしたい」などの意見がありました。

当課は、今後も継続して巡回を実施し、生産者が目標を達成できるよう助言等の支援をしていきます。

なし・りんごは火傷病にご注意を！！ ～直販所などへ呼びかけ～



直販担当者に啓発用チラシを説明する普及指導員

9月8及び11日に、須崎市、中土佐町、津野町、梶原町の6か所の直販所を対象に、行政、JAとともに啓発用チラシを配布し、なし・りんごの火傷病の早期発見と発生防止対策の啓発を行いました。

直販所の担当者からは「火傷病が出ないことを願うが、万一に備えて早期発見することが大事」、「なし生産者に花粉の使用状況を確認し、来年に向けた対策等をお知らせする」と、生産者への周知に協力をいただきました。

管内にはなしやりんごを大規模に栽培している生産者はいませんが、当課は火傷病の症状や発生防止対策を広く周知していきます。